

子どもの探究心を育み 地域社会に貢献したい

5月23日(土)、京都市左京区の顕本法華宗 総本山妙満寺で『京都洛北まちくさみつけ』が実施されました。同活動は、子どもたちが町に自生するユニークな形の雑草「まちくさ」を探して撮影し、好きな名前を付けて発表し合うというワークショップです。7回目の今回は地元社会福祉法人金嶺会 京都市岩倉南児童館(風見親子館長の児童11人が参加し、真剣な表情で「まちくさ」を探していました。ワークショップ終了後、『まちくさみつけ』に取り組む三者——NPO法人「京都洛北・森と水の会」理事長・高井和夫さん(貴船神社宮司)、NPO法人「子どもとアーティストの出会い」山口冴子さん、日本写真印刷株式会社・コーポレートコミュニケーション室CSR部の北村広美さんに、この活動の意義などについて語ってもらいました。



散策終了後の発表会では、それぞれ自分が見つけた「まちくさ」と、命名の理由を発表する

**将来世代支援を目指し
『まちくさみつけ』誕生**

重本晋平さんが考案した「まちくさ」を将来世代支援や環境学習に取り組み

山口 私たちは、アーティストや芸術文化との出会いを通じて、子どもたちの感性や想像力を育むことを目的としたNPO法人です。そのため、子どもたちに向けたワークショップ型授業の企画や運営などを行って

北村 弊社は印刷会社として1929年に創業し、近年はタッチパネルの製造など多彩な事業をグローバルに展開しています。また、「共生」をテーマに社会貢献



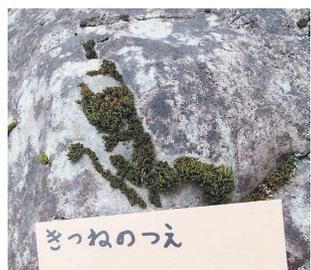
「まちくさ博士」の重本さんと一緒に妙満寺の名園「雪の庭」で「まちくさ」を探す子どもたち

活動にも力を入れており、「子どもとアーティストの出会い」の方からのご提案は当社の方針に沿ったものでした。2010年から『まちくさみつけ』をスタート、翌年に「京都洛北・森と水の会」の方々と出会い、洛北の寺社を巡る『京都洛北まちくさみつけ』が始まりました。

高井 当会は洛北の30社寺が集まり、命の源の水を育む洛北の素晴らしい自然や文化、歴史を伝える目的で設立しました。会として具体的な活動展開を模索していた時に『まちくさみつけ』の話を日本写真印刷さんから頂き、ぜひ活動に加わらせて頂きたいと考えたのです。

山口 子どもたちが本来持っている「ものを自由に見る目」は「まちくさ」とまちくさ博士によってもっと広げていけると思います。また、見過ごしがちな草に名前を付けるなど、自然を大切に思うことよって優しい心を育めたいなと思っています。

北村 弊社は京都に育てて頂いた企業なので、地元にご貢献したいという気持ちで強く持っています。また、この4月には新しいブランドステートメント「Empowering Your Vision」を打ち出しました。「エンパワー」には、「一人に力を与える、活力を与える」という意味があります。この理念を胸に、今後も将来世代支援の活動を継続し、NPOのみならず人と共にビジョンの実現に向けて取り組んでいきたいと思っています。



「きつねのつえ」と命名されたまちくさ

広告

企画・制作／毎日新聞社広告局

北村 『まちくさみつけ』で

左から、NPO法人「子どもとアーティストの出会い」山口冴子さん、NPO法人「京都洛北・森と水の会」高井和夫理事長、日本写真印刷株式会社の北村広美さん



五感とつながる 技術

NISSHA



Empowering Your Vision

知る、感じる、わかる、伝える、つながる。
人の心とともにある、さまざまな技術の未来へ。
私たちは、世界の京都の、NISSHAです。

日本写真印刷株式会社 www.nissha.com